

CASBEE京都-新築(2015年版)
 京都市東山区市営住宅下西団地更新棟(塔高ブロック)(仮称)

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築 (2015年版)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分							
配慮項目		重点項目等		重点項目に対する全国版評価基準の見直し				評価点		重み係数		評価点		重み係数		全体	
Q 建築物の環境品質																3.4	
Q1 室内環境										0.40				-		4.0	
1 音環境								2.9		0.15		3.0		1.00		2.9	
1.1 騒音								3.0		0.49		3.0		0.50			
1.2 遮音								3.0		0.49		3.0		0.50			
1 開口部遮音性能								3.0		1.00		3.0		0.30			
2 界壁遮音性能								3.0		-		3.0		0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								3.0		-		3.0		0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								3.0		-		3.0		0.20			
1.3 吸音								1.0		0.01		3.0		-			
2 温熱環境								1.9		0.35		5.0		1.00		4.5	
2.1 室温制御								2.9		0.50		5.0		1.00			
1 室温								3.0		0.62		-		-			
2 外皮性能						断熱等性能等級で等級4を満たす		3.0		0.36		5.0		1.00			
3 ゾーン別制御性								1.0		0.02		-		-			
2.2 湿度制御								1.0		0.20		-		-			
2.3 空調方式								1.0		0.30		-		-			
3 光・視環境								2.7		0.25		3.7		1.00		3.5	
3.1 昼光利用								3.5		0.31		3.5		0.50			
1 昼光率		●自然		A(全国版準用)		共用部(集会室):2.39%, 住居:1.75%		4.0		0.56		4.0		0.50			
2 方位別開口								-		-		3.0		0.30			
3 昼光利用設備		●自然		B(推奨内容)				3.0		0.44		3.0		0.20			
3.2 グレア対策								2.0		0.28		4.0		0.50			
1 昼光制御		●自然		B(推奨内容)		住戸:カーテン及び庇により制御		2.0		1.00		4.0		1.00			
3.3 照度								2.0		0.14		-		-			
3.4 照明制御								3.0		0.27		-		-			
4 空気質環境								4.2		0.25		4.5		1.00		4.4	
4.1 発生源対策								5.0		0.60		5.0		0.63			
1 化学汚染物質						F☆☆☆☆を全面的に採用		5.0		1.00		5.0		1.00			
2 アスベスト対策								-		-		-		-			
4.2 換気								3.0		0.40		3.6		0.38			
1 換気量								3.0		0.50		3.0		0.33			
2 自然換気性能		●自然		A(全国版準用)		どの居室も1/6以上の開閉可能な窓を確保		3.0		-		5.0		0.33			
3 取り入れ外気への配慮								3.0		0.50		3.0		0.33			
4.3 運用管理								-		-		-		-			
1 CO ₂ の監視								-		-		-		-			
2 喫煙の制御								-		-		-		-			
Q2 サービス性能								-		0.30		-		-		2.7	
1 機能性								2.9		0.40		2.2		1.00		2.3	
1.1 機能性・使いやすさ								3.0		0.40		2.0		0.60			
1 広さ・収納性								3.0		-		3.0		-			
2 高度情報通信設備対応								1.0		-		2.0		1.00			
3 バリアフリー計画		●大切		D(独自基準)				3.0		1.00		-		-			
1.2 心理性・快適性								2.9		0.30		2.5		0.40			
1 広さ感・景観		●とも		C(独自加点)		住居部分の天井高2.4m, 自然を感じられるように窓設置		2.0		0.02		4.0		0.50			
2 リフレッシュスペース								2.0		0.02		-		-			
3 内装計画		●自然		D(独自基準)				3.0		0.95		1.0		0.50			
1.3 維持管理								3.0		0.30		-		-			
1 維持管理に配慮した設計								3.0		0.50		-		-			
2 維持管理用機能の確保								3.0		0.50		-		-			
3 衛生管理業務								-		-		-		-			
2 耐用性・信頼性								2.9		0.30		-		-		2.9	
2.1 耐震・免震								3.0		0.50		-		-			
1 耐震性								3.0		0.80		-		-			
2 免震・制振性能								3.0		0.20		-		-			
2.2 部品・部材の耐用年数								3.5		0.30		-		-			
1 躯体材料の耐用年数		●大切		A(全国版準用)		75~90年(劣化対策等級3)		5.0		0.20		-		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								2.0		0.20		-		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						耐用年数20年(出典:官庁営繕)		4.0		0.10		-		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						浴室・台所系統はステンレスを採用		5.0		0.10		-		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								3.0		0.20		-		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔								3.0		0.20		-		-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備				1.8	0.20	-	-			
	2	給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-			
	3	電気設備				2.0	0.20	-	-			
	4	機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備				2.0	0.20	-	-			
3 対応性・更新性						2.9	0.30	3.3	1.00	3.2		
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり			住居部分の階高2.9m	1.8	0.02	3.6	0.50			
	2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		1.0	0.60	4.0	0.60			
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.40	3.0	0.40			
3.3 設備の更新性						3.0	0.02	3.0	0.50			
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.96	-	-			
	2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-			
	3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-			
	4	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-			
	5	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-			
	5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-			
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.2		
1 生物環境の保全と創出						●とも	A'(全国版準用)	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮						○	C(独自加算) D(独自基準)	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮								3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						●とも、 自然	A'(全国版準用)	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上						●とも	A(全国版準用)	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	-	3.5	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	-	3.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制								4.7	0.20	-	-	4.7
2 自然エネルギー利用						●自然	A(全国版準用)	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化						●自然	C(独自加算)	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)								3.0	0.07	-	-	
集合住宅の評価(3c)								4.0	0.93	-	-	
4 効率的運用								2.9	0.20	-	-	2.9
集合住宅以外の評価								2.0	0.07	-	-	
4.1 モニタリング								3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制								1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価								3.0	0.93	-	-	
4.1 モニタリング								3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制								3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	-	3.6	
1 水資源保護								3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水								4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						●自然	A(全国版準用)	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減								3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減						●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用								3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						●自然	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						●大切	A(全国版準用)	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避								3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用								4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	-	
1 消火剤								-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)								3.0	0.50	-	-	
3 冷媒								3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮								3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮								2.7	0.33	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止								3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						●とも	A(全国版準用)	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制								4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減								3.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制								-	-	-	-	
3 交通負荷抑制								5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制								4.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮								2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
1 騒音								3.0	1.00	-	-	
2 振動								-	-	-	-	
3 悪臭								-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制								3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制								3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制								-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制								3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制								1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策								1.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						●とも	B(推奨内容)	3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる